

令和6年度 基本方針 創立35周年の節目を迎え、組織力（結束・連携・共有）の強化に取り組む

◆総括的概要◆

令和6年度の我が国経済は緩やかな回復基調にあり、長く続いたデフレから成長への転換点を迎えています。33年ぶりの高水準の賃上げが実現し、デジタル化や脱炭素に対応するための設備投資は史上最高の水準となりました。

しかし一方で、ウクライナ侵略の長期化や中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大し、高水準で推移する円安や原材料・エネルギー資源価格の高騰もあって、日本経済を取り巻く経済環境は極めて困難で不透明な状況が続きました。さらに深刻な人材不足の影響から人手確保のための防衛的賃上げを迫られた企業も多く、生産性および付加価値の向上が求められた1年でした。

こうした状況下、町田商工会議所といたしましては、伴走型経営支援を軸として、デジタル化支援、補助金の申請サポート、事業資金の調達、人材確保支援、創業支援、事業承継支援など、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題の解決に取り組んでまいりました。

また、令和6年6月に創立35周年の節目を迎え、会員の帰属意識を高め、地域経済総合団体としての組織力強化を図るため、記念表彰式、記念講演会、そして「つながり」をテーマとする記念イベントを開催しました。

そして、当所が目指す将来像として、「会員企業の繁栄」「地域振興」「政策提言」「組織力強化」を柱とする新たな中期ビジョンを策定しました。

さらに、物価の高騰、人件費の上昇、会費および事業収入の減少など、当所の財政基盤を揺るがす事態が顕在化する中、役員・議員を中心に「財政問題検討特別委員会」を新たに設置し、安定した財源確保に向けて協議を開始しました。令和6年度の事業概要を項目別に報告いたします。

2. 「2025－2029」中期ビジョンの策定

町田商工会議所ビジョン2025－2029 躍動する大商都 一個々がつながり輝く商工会議所ー

2025年を始期とする、5か年の中期ビジョンを策定。第168回常議員会で承認、第72回通常議員総会で報告。

内 容 都市間競争の激化、少子高齢化と人口減少、インターネット販売の台頭、コロナ禍による生活様式の変化等、陰りを見せつつある「商都・町田」を再生し、あの頃の活気を取り戻すには、今一度、町田市全体で考えることが必要不可欠であるとして、町田商工会議所としての基本的な責務である「会員企業の繁栄」、「地域振興」、「政策提言」、「組織力強化」の4つの柱で構成し、個々の会員企業がつながり、明るく輝く町田市の未来に、みんながワクワクして共感できる、数々の取り組みを掲げている。

3. 創立35周年記念事業の実施

「つながる」をテーマに会員の交流機会を設け、帰属意識の高揚と地域総合経済団体として組織力の強化を目指す。

(1) 6月25日（火）創立35周年記念表彰式・記念講演会

①創立35周年記念表彰式

表彰対象 50事業所（100周年以上：8件、75周年以上：9件、50周年以上：33件）

②創立35周年記念講演会

講 師 中川 恵一 氏（東京大学大学院医学系研究科総合放射線腫瘍学講座特任教授）

テーマ がん対策は経営課題

参加費 無料

参加者 148名

(2) 10月2日（水）創立35周年記念講演会・会員交流イベント

つながっちゃえ！町田 創立35周年だヨ！全員集合

①創立35周年記念講演会

講 師 元谷 一志 氏（アパグループ社長兼最高経営責任者）

テーマ 二代目、三代目社長のための帝王学～いかに事業を継承するか～

②創立35周年記念会員交流イベント

内 容 会員交流大抽選会、ぞっこん町田'98演舞、FC町田ゼルビア 黒田 剛 監督（サプライズ登場）

参加費 5,000円

参加者 252名



盛大に開催された会員交流イベント

1. 意見提言活動

中小企業庁

中小企業・小規模事業者政策基本問題

小委員会（委員：会頭）

令和6年8月～全7回の委員会に出席。小規模企業振興基本法に基づく小規模企業振興基本計画（第Ⅲ期）が、3月25日に閣議決定された。

東京都商工会議所連合会 幹事商工会議所

価格転嫁推進東京大会（会頭出席）

開催日 令和7年2月4日

会 場 東京商工会議所 渋沢ホール

内 容 1) 価格適正化に向けた取組み
2) 各団体の取組み
3) 共同宣言決議

価格転嫁推進東京大会にて
閉会の挨拶をする澤井会頭

「価格転嫁推進東京大会」共同宣言（抜粋）～中小企業・小規模事業者が価格転嫁で未来を切り拓く～

わが国は、停滞から新たなステージへの移行に向かう成長への転換局面にある。成長と分配の好循環に向けては生産性向上に裏付けされた物価上昇と、それを上回る所得向上を構造的、持続的なものとして実現していかなければならない。

構造的な人手不足を受け、多くの中小企業・小規模事業者は業績の改善が見られない中での防衛的な賃上げを強いられている。価格転嫁を含む適正な取引の商習慣の定着に向けて、官民の連携を強化しさらなる環境整備を図るとともに、中小企業・小規模事業者自らも価格転嫁と生産性向上に積極的に取り組んでいかなければならない。

いま、我々、東京の企業・団体がこの課題に率先して取り組むことで、経済好循環に向けた動きを加速させ、日本全体の経済成長を牽引すべく、宣言する。

4. 職住近接を目指した人材確保支援事業の実施

東京町田合同就職面談会2024【東京都活性化事業】

生産年齢人口の減少等により、人手不足は全国的な課題となっており、特に中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境では人材確保が非常に難しい状況である。

当所では関係機関等と連携、協力し、町田で働きたい求職者〔令和7年（2025年）

3月卒業予定の大学院、大学、短大、高専、専門学校等の学生及び20・30代の中途求職者〕を集めて合同面談会を開催し、人材確保を支援した。

開催日 10月23日

会 場 町田市民ホール会議室

出展者数 22事業者

来場者数 53名（学生19名、中途求職者34名）



町田市民ホールで開催

5. ローカルファーストから始まる地域資源の活用と市内経済活性化

販路拡大支援事業（カタログギフト事業）

市内には贈答品となりうる商品があるにも関わらず、発信力が弱く、消費者に届いていない現状であることから、令和5年度から当所と町田市観光コンベンション協会が連携して贈答品となる商品の発掘及び創作を行い、カタログギフト（ハガキタイプ）を制作することで市内での地産地消（ローカルファースト）を推進し、事業者の販路拡大、地域活性化を促進する事業。本年度は新たに11社の追加を行った。

商品名 「TSUNAGARI ー町田街道物語ー」

掲載数 38品目

価格 1部 5,000円（税込）

販売部数 956部（※令和7年3月31日まで）

審査会 7月10日

販促支援 9月5日～9月11日

カメラマンによる掲載商品／サービスの撮影、撮影支援



追加品 株式会社ゼルビア 特製ウェア

6. 中小・小規模事業者の経営改善・活力強化等に向けた取り組み

(1) 小規模事業者、創業予定者等に対する経営指導員による伴走支援

・巡回相談 1, 347件 ・窓口相談 1, 509件 合計 2, 856件

(2) 小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の普及・活用促進

・マル経融資 推薦件数：62件（前年度対比92％）、推薦金額：43, 100万円（前年度対比102％）
・マル経融資に対する町田市による利子助成件数：187件 助成額：436万円

(3) 経営セミナー、個別指導、専門相談の利用促進

・経営セミナー（18回、493名） ・個別指導（18回、217名）
・個別専門相談会（66回、88名） ・個別講習（2回、24名）

(4) 中小企業活力向上プロジェクト アドバンス〔東京都補助事業〕

都内中小企業・小規模事業者を対象に、当所の経営指導員と中小企業診断士が連携して経営診断を行った。経営診断で判明した経営課題については、専門家を派遣して解決に向けた取り組みを進め、事業計画の策定とフォローアップ支援を行った。

実績 経営分析 実施企業数 23社
アシストコース 実施企業数、支援回数 52社、203回
アドバンスコース 実施企業数、支援回数 16社 53回

(5) WEBセミナー

経営、税務、労務等の役立つセミナー、約700タイトル以上を動画配信。視聴には事前の申し込みが必要。

実績 延べ視聴者数 1, 443名 延べ視聴回数 3, 150回

(6) 創業支援事業

①町田創業プロジェクト〔産業競争強化力法による認定〕

起業家カード発行件数 89件（平成26年7月より累計 954件）

②まちだ創業スクール2024〔東京都活性化事業〕

・無料プレセミナー 受講者数 44名、YOUTUBE配信 599回
・本格コース 受講者数 30名、個別相談 26名（延べ）
・副業コース 受講者数119名（オンライン講座）

(7) 補助金申請サポート

・小規模事業者持続化補助金（1回） 支援計画書発行数 12件、採択 3件
・事業再構築補助金（2回） 確認書発行数 5件、採択 0件

(8) 看板商品プロデュース事業〔日本商工会議所補助事業〕

経営発達支援計画に基づき、看板商品の知名度向上、新規販路開拓、売上増加を支援

・商品PR検討会 4者 ・DX推進診断支援 8者 ・個別DX推進支援 8者 ・PR動画作成 8者

(9) 事業環境変化対応型支援事業、制度改正等の課題解決環境整備事業〔日本商工会議所委託事業〕

インボイス制度導入やエネルギーその他の物価高騰等、新型コロナウイルス感染症等、デジタル化、最低賃金引き上げといった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者の支援を行うため、専門家等による窓口相談や個別経営相談会、各種講習会を実施し、支援を行った。

① 中小企業診断士による「個別経営相談会」

令和6年6月～令和7年1月まで毎月開催（8日間）

相談者数 15名

②各種経営セミナー開催 延べ94名



活力向上プロジェクトアドバンス

7. 多摩ビジネスサポートセンターによる事業承継支援

町田市市をはじめ多摩地域の小規模事業者を対象に、「事業承継」や「事業継続」などの経営課題解決のために専門家を派遣し、支援を行った。本年度は支援事例動画を作成し事業承継支援施策の周知を図った。[東京都拠点事業]

① 経営戦略・事業承継セミナー（2回実施）参加者数：37名

② 専門家派遣

支援社数 201社（前年度比113％）

派遣回数 935回（前年度比100％） [主な支援内容] 事業承継（33％）、販路開拓（29％）、事業継続等（38％）



動画サイト



8. 会員増強運動

「つながる会員の輪」拡大強化運動 ～非会員向け活用説明会&個別相談会～

地域経済総合団体として、会員数の微減による組織率低下は財源縮小への影響を及ぼすばかりか国や行政への要望活動を実現させる「発信力」が薄れるという大きな課題である。そのためにも会議所活動の基盤となる会員拡大強化が重要であることを再認識の上、昨年度に引き続き、役職員が一体となった「つながる会員の輪～会員拡大強化運動」を実施した。

開催日 9月18日（水）
内容 第1部 商工会議所事業の解説
会員事業所による会議所活用事例（3事業所）
第2部 会員交流
経営指導員との個別相談（事前予約制）
実績 参加者22名、実施後19名が入会



10. キラリ☆町田私の好きなお店大賞

第20回記念グランプリ

市内中小店舗の中で個性的で魅力ある店づくりを意欲的にいき、多くの消費者から支持を得、地域商業振興の発展に寄与した店舗を表彰。本年度は第20回記念大会として第11回から19回までの大賞受賞店35店舗の中からグランプリを選出した。

投票総数 8, 389票
受賞店舗 グランプリ リッチなカレーの店 アサノ
会頭賞 酒舗まさるや
市長賞 やさいのナイトウ町田店
商業部会長賞 グランガトー
食品・飲食業部会長賞 蕎麦処くに作
サービス業部会長賞 ROWSE



令和7年1月7日 新年賀詞交歓会で表彰

11. その他の活動

(1) キラリ☆まちだ祭 2024 ～いい街・町田の農業&産業フェスティバル～

町田市内の地域資源や農産物、商品・サービスなどを広く市民にPRし、町田市の魅力と活力を多くの市民に知ってもらう機会を創出し、あわせて市内で生産された食材を使った飲食物や、地元農産物、商工業者の連携商品の販売・展示に取り組んだ。「町田夢舞生ッスイ祭」も同時開催し、当日の賑わい演出も行った。

開催場所 ① 原町田大通り会場 ② 町田シバヒロ会場 ③ 小田急駅前東口広場会場

開催日 11月9日（土）、10日（日）

出店者数 40ブース（原町田大通り、町田シバヒロ会場）

来場者数 2日間で約10万2千人（全会場合計）

企画事業 ①「町田市農業祭」
②「連携商品の販売・展示」
③「回遊性向上企画～キラリ☆デジタルスタンプラリー～」
④「町田夢舞生ッスイ祭 第20回記念」

(2) ホームタウンチーム支援事業

①FC町田ゼルビア「国立競技場への応援ツアー」

日時 4月13日（日）

会場 国立競技場

参加者数 23名

②小田急ロマンスカーFC町田ゼルビア応援“剛”ツアー

日時 11月9日（土）

参加者数 29名

③国立競技場無料チケット配布

配布数 2, 110名（4試合延べ）

(3) 大阪・関西万博チケット販売

令和7年から開催される大阪・関西万博の超早期購入割引販売の案内を実施した。

実施日 8月20日（情報誌9月号）

申込枚数 112枚

